

ふたりで歩こう♪ 「中野植物園」

小樽市清水町の中野植物園は、市内で唯一の私設の植物園です。もともと個人宅の庭でしたが、その広さと景観の素晴らしさに、子どもを始めとした近所の人々がひんぱんに訪れ、開放されるようになったのが、明治41年のこと。以来100年あまり、訪れる人に自然あふれる憩いの場を提供してきました。

中野植物園の特徴は、総敷地面積が約5000㎡（15000坪）という広さと、真っ赤に色づいた紅葉です。同植物園のノムラモミジは、春の新芽から赤く、夏の緑を経



て秋にまた紅葉するので、年に一度紅葉が楽しめます。秋からの本格的な紅葉シーズンには、赤・黄・オレンジに見事に色づいた、燃えるような紅葉が迎えてくれます。ほかに、エゾヤマザクラ、ツツジやアジサイ、珍しいドイツ黒松や八重咲きのフジなどが植えられ、季節の花々が見られるのはもちろん、エゾリスなどが姿を見せることも。ウグイス、アオバト、アカゲラなどのほか、トビが巣を作るなど、野鳥の繁殖例も多く挙げられています。園内のあちこちに設置されている遊具は、大人が花

見などの宴会中に子どもが遊べるようにと、大正時代に初めて設置されました。小川を越えた高台にある、併設のグラウンドからは源山（標高150m）の頂上へ登山道が続き、市街地を見下ろす眺望も楽しめます。現在も、近隣の小学校の炊事遠足の定番スポットとして、また、春のお花見、夏の森林浴、秋の紅葉狩りと、子どもから大人まで四季を通じて一年中楽しめる中野植物園です。

中野植物園
小樽市清水町26-30
TEL 0134-23-3468
開園期間 4月下旬～11月末日
開園時間 午前9時～午後5時
入園料 おとな200円
子ども100円（団体割引あり）
無料駐車場有り

「はるねと」21号は、編集委員が大きく入れ替わりしました。新メンバーの初仕事は、いかがでしょうか。

先日、ある会合でお会いした大学教授の方から、「はるねと」に大変お世話になりました」とあいさつされました。私が、「エッ!」どの記事ですか?とお尋ねしたところ、それは20号の「ふたりで歩こう」でした。北海道薬科大学薬用植物園取材した記事で、大学でも話題になったそうです。静かに静かに市民の皆様の心に「はるねと」が浸透していると実感しました。

男性と女性には、身体的、生理的にさまざまな違いがあります。その違いを対立的にとらえるのではなく、お互いの個性として生かしあう関係を築くことができれば、もっと住みやすい社会になるのではないのでしょうか。異なる視点を持つた人の存在が組織の活性化に役立つという考え方が、これからますます重要になってくると思います。自分の個性を発揮しつつ、他人の異なる考え方も尊重できるように優しさを広げていきましょう。

（青野）

いっしょにつくろ!

●パックでアイス (簡単スイーツ)

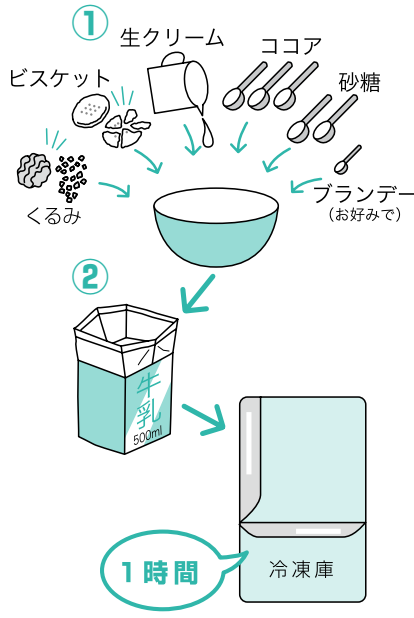
■材料 (2人分)

- くるみ/数個
 - ビスケット/1、2枚
 - 生クリーム/200cc
 - ココア/大さじ3
 - 砂糖/大さじ2
 - ブレンダー/少々 (お好みで)
- 容器として500ccの牛乳パックまたは生クリームの空きパック

■作り方

- ①くるみは細かく砕き、ビスケットは小さく割る。ボウルに材料を全て入れ混ぜる。生クリームは泡立てない。
- ②容器に材料を移し、冷凍庫に入れて1時間待つ。

※ココアの代わりにフルーツを入れると、いろいろな味が楽しめます。



INFORMATION

10月27日(水)～11月12日(金)は「小樽市男女平等参画週間」です。この期間に、市では、次の事業を実施します。

●講演会

- 日 時: 10月30日(土) 午後1時～3時
- 会 場: 小樽経済センタービル 4階ホール
- 講 師: 五輪橋産科婦人科小児科病院 名誉理事長 丸山 淳士氏
- 演 題: 「個性は生き物の要 (かなめ)」・・・大切な役割分担

●男女平等参画パネル展

- テーマ: 「男女間における暴力 ～ひとりで悩まないで」
- 期 間: 10月27日(水)～11月1日(月) 午前10時～午後9時
- 会 場: ウイングベイ小樽5番街 2階 喜久屋書店前
- 期 間: 11月3日(水)～7日(日) 午前10時～午後9時
- 会 場: 長崎屋1階 公共プラザ
- 期 間: 11月8日(月)～12日(金) 午前8時50分～午後5時20分
- 会 場: 市役所 別館1階渡り廊下



- 見よう 聞こう 知ろう 小樽の今
- 仕事にやりがい!! はつらつ女性の再就職
- 母国と小樽の男女平等参画について
- いきいきライフ ● ベストパートナー

はるねと
男性と女性という
枠を越えた仲間
がつくる情報網と
いう意味です。
PAL (仲間)
NET
(ネットワーク)

はるねと 第21号
平成22 (2010) 年10月1日発行
■ 発 行 ■
小樽市生活環境部男女平等参画課
〒047-0024 小樽市花園2丁目10番18号
TEL 0134-22-5904 FAX 0134-22-6081
■ 企画・編集 ■
男女平等参画情報誌編集委員会
編集委員/青野美代子・岩村 亮太
平沢 則子・松並 るみ

編集後記



見よう 聞こう 知ろう 小樽の今 仕事にやりがい!! はつらつ女性の再就職

出産を機に仕事を辞め、その後再就職や起業し、
輝いている女性に聞きました。



子育てに関する きめ細かな街の情報を発信

●小樽坂の街出版企画(有)「Wa・O! (ワーオ)」企画編集担当

中津 江利子さん



「小樽をもっと元気に!」と笑顔で話す中津さんは小樽生まれの小樽育ち、現在は小学校に通う二人のお子さんのお母さんです。

独身の頃は、スキューバダイビング、化粧品やアロマテラピーの仕事をしてりと多様な経歴の持ち主です。

結婚、出産を機に仕事を辞め、10年間は家事、育児に専念しました。その期間は「もっと社会がこうなつたらいいな」と日々いろいろなことを感じながら過ごしていたとのこと。

二人目のお子さんが幼稚園に入り、そろそろ社会復帰したいと思った時、坂の街出版企画(有)の求人を見つけ、いくつかの企画を持って面接に臨みました。その中で採用されたのが「子育て応援&情報フリーペーパー Wa・O!」でした。現在はほとんど一人で、取材から原稿書きまで行っているそうです。

中津さん自身、小さいお子さんを連れて出かける際、オムツ替えやミルクをあげる場所などに不便を感じ、子育てに対しての社会的バックアップの少なさを痛感したとのこと。また、子育て

では楽しさの反面、不安や悩み、ストレスもたまるといふ実感を持ちました。最近はずいぶん少なくなりましたが、子育てしやすい環境や関連施設などが増えてきました。しかし、まだ情報があちらこちらに散らばっているような状況。それをひとつにまとめて、「Wa・O!」の誌面に載せ、市内の子育て中の方々に発信しているとのこと。

「今後は、子育ての悩みを話せて楽しめるような居場所づくりや、お年寄りや小さいお子さんをつなぐ催しなどを企画し、若い人がたくさん小樽に移り住み、楽しく子育てをする、そんな活気ある街になるようお手伝いがしたい」という強い希望をお持ちです。

感謝の気持ちをもって 小樽のまちを盛り上げたい

●カフェ&フラワーショップ「Verre Boies (ヴェールボア)」
森 智清さん



住吉町でカフェ&フラワーショップ「Verre Boies」をこ夫妻で営んでいらっしゃる森智清さんです。

幼い頃から物作りが好きだった森さんは、将来子どもと長く一緒にいるために、手に職をつけ家で仕事をしたいと考えていました。最初に就職したのは、小樽の生花店でした。「お店では、お花や商売の基本だけでなく、誰からも愛される奥様の人柄から人間性の大切さを教えられました」とのことです。

しかし、持ち前の向上心から、さらに技術を磨くために上京。そこは、男性優位の職場でしたが、自分が認められるために寝る暇も惜しんで働いていたところ、母親の病気を機に小樽に帰ることにしました。

そこで花を生かす方法を模索し、出会ったのがガラス細工でした。何としてみやまのガラス工房に何か月も通い続け、仕事に就くことができ、後には、見学工房の責任者を任される社員になりました。そして、より自分のこだわりを表現する仕事がしたいと独立したところ、今度はお子さんが生まれることに。

現在、二児の母親になった森さんは、平成20年に念願の自宅兼ショップを開店しました。花のアレンジ、ガラスの製作、お店の接客、家事、育児と毎日、超多忙ですが、今、自宅で仕事ができるのは「夫の協力があり、また、以前勤めていたお店も応援してくれるから」と感謝の気持ちを笑顔で語ります。

「小樽には、小樽を元気にしようと考えている人が大勢いるので、一緒に小樽を盛り上げて、活気のある街にしたい」と語る森さんに、女性としての強さと小樽という街に根付く力強さも感じました。

夫の協力や職場仲間からの助言、 人間関係が一番大切

●済生会小樽病院 看護師 澤田 佳代さん

とにっこり。

高校生の時、入院生活を支えてくれた看護師さんの優しさに影響を受け、看護師の仕事を選んだという澤田さんは、さわやかで優しい笑顔が魅力的な方です。出産を機に退職しましたが、お子さんが一歳になった時に、再就職を考えました。「看護の技術は日進月歩なので、余り長くブランクを空けると、職場復帰は難しくなるのでは?」

と思ったそうです。理学療法士として働く夫の職場で、今年から短時間勤務の正職員制度を導入したため、迷わず応募。お子さんを院内保育所に預けて、午後三時半まで働いています。

「仕事に復帰したことで、家事、育児、仕事のバランスがとれ、生活にメリハリができました」とおっしゃいます。職場には子育て中の同僚や子育てを終えた先輩が大勢いるので、子育ての悩みなども語り合え、さまざまな助言に勇気づけられているそうです。辛いのは、やはりお子さんが病気になる

たときの対応。夫と協力して、休みを取るそうですが、「夫や職場の仲間のフォローには、とても感謝しています」

澤田さんのように個性を生かし仕事にやりがいをもって社会に貢献できる方々を、これからもますます支えていく職場や社会であることの必要性を強く感じずにはいられませんでした。



ニュージーランド

ニュージーランド出身の英語講師
ジェイミー ケンプさん

イギリスで生まれ、7歳のとき、オーストラリアへ移住しました。19歳のとき、ニュージーランドのダニーデンへ。11年前、交換留学生として国際経営を学ぶため小樽商科大学に入学。以来、小樽で暮らしています。妻は日本人で、9歳と4歳の女の子がいます。現在は同大学の英語講師を勤める39歳です。

- ① 姉妹都市の小樽は、ダニーデンにとってもよく似ています。どちらも港町で、坂道が多く、街並みには石造りの歴史的建造物が多いです。雪はダニーデンの方が少ないですが、気候も似ています。
- ② 男女別に受ける授業はありません。家庭科は男女共に学びます。
- ③ 1893年に世界で最初の女性参政権を確立したニュージーランドは、男女平等がとても進んでいます。同じ仕事であれば、性別で賃金に差をつけることが法律で禁止されています。また、日本では、消防士や大工になる女性はとても少ないように思いますが、ニュージーランドでは一方の性別に偏った職業はあまりありません。議員なども女性の割合が高いため、クォータ制の必要がないと言われています。我が家は共働きですが、家事は、自然とお互いに分担しています。
- ④ 日本は、男女の差が何かと大きい国だと感じています。まず、男性と女性では、言葉遣いから違います。英語には、このような違いはありません。しかし、私が来日して11年がたち、この間に日本もずいぶん変わってきたなという印象も持っています。たとえば、最初の子どもの幼稚園の参観日は、父親の参観者は私一人でしたが、2番目の子どものときは男性の参観者が増えてきました。いい変化だと思います。



韓国

韓国(ソウル)出身の介護福祉士
李 永順さん

仕事で韓国に来ていた小樽出身の男性と結婚し、1996年小樽に来ました。最初のお子さんは韓国生まれ、2番目のお子さんは小樽生まれです。勤労女性センターのハングル講師も勤める48歳です。

- ① 静かで自然が多いという印象でした。また、高齢者が多いのも目に付きました。夜が暗いのも印象的でした。私は周囲の人に大変恵まれたと感謝しています。



- ② 私の子ども時代は、小学校は男女共学ですが、中学・高校は別学でした（最近共学が増えており、私の母校も共学になっています）。韓国は徴兵制があるため、中学・高校では、男子は軍事訓練や機械を学ぶ授業を受け、女子は家庭科と看護を学ぶ授業を受けます。
- ③ 韓国では以前は儒教道徳の影響が強く、男尊女卑の考えが支配的でした。しかし、1988年のソウル五輪以降、ものすごい勢いで近代化が進んでいます。女性の大学進学率は30%を超えました。また、選挙にはクォータ制が導入され、女性議員の比率が高まっています。もともと男性中心の文化が根強かったので、男女平等を進めるためには、そのように法律で強制するのも良い方法だと思います。
- ④ 来日したばかりの頃は、日本は韓国より男女平等の面では20年くらい進んでいると感激しました。しかし、長く住むにつれて、男女差別は日本にもあるのだということを実感しています。特に仕事をしていると、能力面で適正に評価されず、男性に有利になっていると感じています。

教えてください

母国と小樽の男女平等参画について

海外からいらした方に聞きました

小樽在住の留学生や外国の方から見た小樽の男女平等参画についてお話を伺いました。

- ① 小樽の第一印象は、どのようなものでしたか？
- ② あなたの母国には、男女共修前の日本の家庭科・技術科のように、性別で受け方の異なる科目はありますか？
- ③ 母国の男女平等参画の状況を教えてください。
- ④ 小樽に住んでみて、男女平等参画的視点で見た場合、何か気付いたことはありましたか？

中国

中国(内モンゴル自治区)出身の留学生
祁 銀玲さん

2005年10月に来日し、2007年4月から小樽商科大学で貿易を学んでいる28歳です。

- ① 2007年2月、大学に願書を提出に来た時が、小樽との最初の出会いでした。坂道が急であったのに驚きました。その時、道に迷ってしまったのですが、小樽の人はみんな親切で、丁寧に道案内してくれたのが、とても印象的です。
- ② 男女別に受ける授業はないと思います。
- ③ 中国はとても広いので、地域差が大きいです。一般的に都市部では男女平等が進み、農山漁村部では男尊女卑の考え方が残っていると思います。また、都市と農村で考えると、都市部では共働きが増えています。都市に住むと生活費も高いので、共働きじゃないとやっていけません。私は結婚しても仕事を続けたいです。友達もみんな同じ考えです。



- ④ 小樽の教会で中国語の講座を開いていたのですが、50代60代の女性が「早く帰って、夫にご飯を作ってあげないといけない」と言うのを何度も聞いて、「おかしいなあ。夫が自分で作ればいいのに」と思いました。中国では男性も料理できますし、料理できることを誇りに思っています。中国は一人っ子政策を採っているため、男女比では男性の方が多く、5人に1人の男性は結婚できないと言われていました。女性にもてる（女性から結婚相手として認められる）ためにも、男性は料理上手になろうと努力しています。

フランス

フランス出身の留学生
コルテス エマニュエルさん



2009年9月に小樽商科大学大学院に入学し、国際経済・経営を学ぶ23歳です。パリ出身ですが、現在実家は南仏のエク・アン・プロバンスにあるそうです。

- ① 小樽はとても静かな街という印象でした。大学は山の上にあり、繁華街から離れているため、勉学に集中するにはベストの環境です。また、こじんまりした少人数の大学なので、学生や教官とのコミュニケーションが密なのもとても恵まれていると思います。
- ② 男女別に受ける授業はないと思います。私の父母のように60歳以上の人たちは、家庭科は女子が、技術科は男子が受けていたと聞いています。
- ③ 昔は、男尊女卑の考え方が強かったのですが、1960年代から、男女平等の流れに変わってきました。女性も進学するし、仕事もするようになってきています。フランスでは、産前産後の休暇は産前6週間、産後10週間取得できますが、男性にも父親休暇という出産後4か月以内に11日間取得できる制度があります。また、家事は男女で平等に分担しています。フランスの男性は料理や掃除を嫌がりません。子どもの時から、家庭で母親にそのようなしつけられているためではないでしょうか。また、フランスではクォータ制（割り当て制）が導入されており、内閣の大臣は20%以上を女性が占めなければならないと決められています。こういう制度も有効だと思います。
- ④ とても優秀な女学生が知り合いにいますが、彼女は女性であるがゆえに、父親が大学院への進学を認めなかったという話を聞いて、大変驚きました。彼女がフランス人だったら、間違いなく大学院に進学しただろうと思います。

- 男女がともに創る豊かな社会を目指して - 「小樽市男女平等参画基本計画」 平成21年度進行状況

男女がそれぞれの個性や能力を十分発揮でき、共に支え合う男女平等参画社会を実現するため、平成15年3月に、市が取り組むべき具体的な施策を示す「小樽市男女平等参画基本計画」（計画期間：平成15年～24年）を策定しました。

計画に基づく145項目の事業は、平成18年度ですべて実施済みとなっています。

このため、基本目標四つに沿って継続事業を除いた拡充事業の概要をお知らせします。

基本目標
I

男女平等参画社会の実現に向けた意識の改革

小樽海上保安部等の女性職員の意見交換会に講師を派遣し、研修等の支援を行いました。また、DV担当の関係機関の職員を対象に配偶者からの暴力被害者支援アドバイザー派遣事業研修会を開催しました。

基本目標
II

あらゆる分野への男女平等参画の促進

女性団体等の交流ネットワークづくりを促進するため、女性等登録団体によるネットワーク会議を開催しました。

基本目標
III

男女が働きやすい環境づくり

産休明け保育、一時的保育、延長保育、広域保育を拡大し多様な保育サービスの充実を実現し、放課後児童クラブでは土曜日開設を実施している8校のほか新たに5校で試行しました。

基本目標
IV

男女平等参画社会を可能にする環境整備

妊婦健診の助成対象病院を市内4病院から全国の病院に拡大しました。また、離乳食講習会を開催するなど子育て支援に取り組みました。小地域ネットワークづくりの促進の一環として町内会などで行っていた配食サービスに業者配食も取り入れ事業を拡大しました。

男女平等参画社会は、誰のため？

男女平等参画というと、多くの方は「女性のための施策」と考えているのではないのでしょうか。しかし、男女平等参画とは、「男性も女性も、個性と能力に応じてあらゆる分野で活躍できるようにすることであり、共に利益を享受できるとともに、責任を担う社会を作っていくこと」です。つまり、男女平等参画社会は女性にとってだけでなく、男性にとっても、優しい社会なのです。

★ ★ ★

我が国には、「男性は外で働き、女性は家庭を守る」という性別役割分担意識が根深く残っています。こうした考え方は、男性にとってもプレッシャーになっているということが最近言われるようになってきました。家計の責任者としての重圧が、中高年男性のうつ病や自殺、あるいは若者の晩婚化や非婚化につながっているのではないかと指摘されております。

★ ★ ★

もう一つ別の視点からも考えてみましょう。日本の正規労働者の多くは、長時間労働や全国区での転勤に就くことが暗黙の了解のようになっています。そのこと自体、働く人に大変なストレスをもたらし、過労死や様々な病気の増加を招いていると言われていいます。このように、長時間労働や転勤が当たり前の働き方の社会では、家事や育児、介護は誰が担えばよいのでしょうか？

★ ★ ★

子育てや介護と両立する働き方を作ることも、男女平等参画の大事な柱です。

女性が働きやすい社会は、男性にとっても働きやすい社会です。女性も男性も生き生き働いて、家事や育児もお互いに分担し、地域社会とのきずなを深めることもできる社会、そんな社会を皆で作っていきましょう。

ほくてん
キッチン

火を使わないから
クリーンで安心
IHクッキング
ヒーター

アロマオイルマッサージで疲れやストレスを癒し、リフレッシュしませんか。

●アロマオイルトリートメント(30分～60分)
3,000円～6,000円

●肩こりケアコース30分 3,000円

赤ちゃんの発達を促す
ベビーマッサージ教室
(対象:生後3～6ヶ月)
2回コース 2,500円

予約・問合せ 完全予約制・女性限定 小さなサロンです。お気軽にどうぞ

お問い合わせは **ほくてん小樽支店 販売グループ** 小樽市富岡1丁目9番1号 TEL 0134-23-1142

は せ が わ こ う じ
長谷川 幸治さん
(プロフィール)
小樽市出身信香町在住。
妻昌美(まさみ)さん、長男
勇輝(ゆうき)くんと3人暮らし。
市内見晴町「札幌緑
花会 松泉学院」勤務。

長谷川さんは、よく子育て世代の同僚や先輩、自分たちの親へ、アドバイスを求めます。「子育ては頭で考えても上手くいかず、自分の思い通りにはなりません。夫婦だけ、自分だけの考えで悩むこともあります。そんなときは目を外へ向けて、いろいろな人へ相談します。何でも

美唄出身の豊さんは昆虫好きだったことから、養蜂を仕事にしようとして18歳のとき単身、静岡へ修業に出ました。4年後、北海道へ戻り、「岩崎みつばち園」を設立。父と二人で養蜂業を始めました。

豊さんの趣味は山登り。市内の小樽勤労者山岳会に入り、そこで知り合ったのが、同会に所属していた小樽出身の道子さんでした。お二人は平成4年に結婚。結婚当初の楽しみは、毎週のように出かけて行った登山。地元のほか東北など、いくつもの山に登りました。

4年前にお父さんが亡くなったからは、ご夫妻で家業を守ってきました。蜂は、市内の蜂場で育てていますが、冬の間は巣箱ごとトラックで越冬のため本州へ。雪解けとともに小樽へ戻

り、6月から7月にかけていよいよ採蜜の時期を迎えます。「育ててきたハチの成果が現れる、採蜜の時が一番楽しいですね」と道子さん。

「小樽はちみつ」は、手加えない天然物にこだわった商品。より品質向上を目指し、今年は耕運機などを購入して、ハチにつく害虫駆除に効果があると思われるハーブを、蜂場の近くに植えました。「今年は特に天候不順が影響し、蜜量が減りました。ハーブの効果が出るまでに3、5年かかるでしょうが、今できることをやるだけです」と語る豊さん。ご夫妻に共通するのは自然を愛する気持ち。養蜂を通じて森の大切さを伝えたいと考え、日々自然と向き合うお二人です。

「自分が育つ子育て
周囲に助けられながら妻をサポート」

小樽市見晴町にある障がい者施設で仕事をする長谷川さんは、1歳4か月の子どもを持つ、子育て真っ最中のイクメンパパ。仕事も家庭も充実し、世界観が広がったと感じる長谷川さんの今を語ってもらいました。

ベスト
パートナー

いわさき みち こ
岩崎 道子さん
 いわさき ゆた か
岩崎 豊さん

「山登りと自然を愛する
気持ちが共通項」

塩谷(ようほう)で養蜂業を営み、「小樽はちみつ」を採集・販売する岩崎さんご夫妻。力を合わせてハチと森を育てています。

体験
クーポン
1,000円

アロマオイルマッサージで疲れやストレスを癒し、リフレッシュしませんか。

●アロマオイルトリートメント(30分～60分)
3,000円～6,000円

●肩こりケアコース30分 3,000円

赤ちゃんの発達を促す
ベビーマッサージ教室
(対象:生後3～6ヶ月)
2回コース 2,500円

予約・問合せ 完全予約制・女性限定 小さなサロンです。お気軽にどうぞ

Tel:090-4872-8382 小樽市花園2-7-10「新藤カスケード」 OPEN:10:00～20:00 不定休

ほくてん
キッチン

火を使わないから
クリーンで安心
IHクッキング
ヒーター

アロマオイルマッサージで疲れやストレスを癒し、リフレッシュしませんか。

●アロマオイルトリートメント(30分～60分)
3,000円～6,000円

●肩こりケアコース30分 3,000円

赤ちゃんの発達を促す
ベビーマッサージ教室
(対象:生後3～6ヶ月)
2回コース 2,500円

予約・問合せ 完全予約制・女性限定 小さなサロンです。お気軽にどうぞ

Tel:090-4872-8382 小樽市花園2-7-10「新藤カスケード」 OPEN:10:00～20:00 不定休

臨時ゴミの収集運搬は
おまかせください!

お気軽に
ご相談
ください。

事業系一般廃棄物
産業廃棄物

引越しの
ときに出る
粗大ゴミ

大掃除の
ときに出る
粗大ゴミ

家具・建具
などの処分

小樽市許可第17号収集運搬業者

(株)クリーンサービス
TEL33-2633 FAX33-8937 小樽市天神2-8-1

小樽のお土産、贈り物に。

ーロマンの街に「おいしさの歴史」を刻みますー

洋菓子・喫茶の **あまとう**

本店 〒047-0032 小樽市稲穂2-16-18 (都通アーケード内)
TEL(0134) 22-3942

運河店 〒047-0031 小樽市色内1-1-12 (中央バス運河ターミナル内)
TEL(0134) 31-0141

札幌店 〒060-0042 札幌市中央区大通西3 (大通ビッセ内)
TEL(011) 233-1777